

開催記録

名 称	第9回 振興計画町民検討会議
開催日時	平成22年2月24日(水) 午後7時～午後9時15分
開催場所	会津美里町役場高田庁舎 第3会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>(①班) 片山紀彦、片山玲子、馬場清志、佐藤正人</p> <p>(②班) 野中憲子、石橋史敏、石川栄子、田部実</p> <p>(③班) 荒井弘之、渡辺秀造、根本昌志、薄謙一</p> <p>【事務局】</p> <p>(総合政策課) 佐藤課長、木崎係長、渡部朋宏、榎森正典、大竹さおり</p> <p>(総務課) 遠藤香</p>
議 題	「土地利用構想について」
資料の名称	● 「土地利用構想について」
記録方法	<input type="checkbox"/> 会議全文 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項「土地利用構想について」</p> <p>【①班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林 <ul style="list-style-type: none"> 松くい虫等害虫の被害が美里周辺全域に広がっている 森林を支える様々な生物が住めなくなっている 水源涵養地としての影響も大きい(水不足、土砂災害など) ・農用地 <ul style="list-style-type: none"> 休耕地等が増えている(再生が困難) ・宅地 <ul style="list-style-type: none"> 町営駐車場が有効利用されていない 	

・道路

良い道路が造られているにもかかわらず、有効利用されていない（あやめロード，大規模林道…）

※（森林・農地）里山環境の再生、（道路・宅地）既存施設の質を上げていくこと

【②班】

・Iターン者をターゲットに、空き家や遊休農地を活用した仕掛けが必要

→ つなぎ役としての行政の役割

・観光案内板が少ない

→ 新鶴 IC からの誘客（わかりやすい案内板の設置）

・「道の駅」の設置

【③班】

・大内宿へ向かう観光客は美里町を通らないケースが多い

→ 大内宿への観光客をターゲットにワンストップさせる施設（道の駅等）が必要

→ 美里町へ誘客を図る（観光施設：白鳳山，蓋沼，千本桜…）

・大内宿の食は県外（山形，北海道など）から調達されている

→ 美里の『食』を観光客に提供する（美里の『食』と『農』をアピールしていく！）

・美里町出身の高齢者を呼び込み、知恵や経験を活用する仕掛けが必要

《質疑・意見》

（委員）大内宿との連携に際し、食の提供としての美里町の役割は、非常に重要な視点ではないか。一方で、すべての食を提供するのは難しい。

（委員）大内宿と美里町では連携しているのか？

（事務局）様々な連携・交流を進めている。また、関山地区においては、地区住民が中心となって様々な取組を行っている。

（委員）森林を所管する部門と農地を所管する部門について、国・県の縦割り行政の弊害が感じられる。

「環境」の観点から取組む仕組みについて、町からも国・県へ働きかけてほしい。

（委員）会津美里町の自然環境をアピールし、「環境」をキーワードに連携を深めていってはどうか。

3. その他

（1）次回の会議日程

・平成22年3月20日（土曜日）午前9時30分～午後3時 高田庁舎第6会議室

・職員（施策主管課長等）を交えたワークショップ

・内容：

（2）次年度以降の会議日程

・平成22年4月11日（日曜日）時間場所未定

・内容：計画期間（H23～H27）で優先的に実施する施策の検討（施策優先度評価）

4. 閉会